学校番号	３０２

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校政治・経済　新訂版　（実教出版）						
副教材等	最新　政治・経済資料集　新版（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界で起こっている様々の問題を科学的に考察する視点を養成する。
・歴史的な視点、政治経済的視点、国際関係からの視点を関連させ、縦横に幅広い視点から諸問題を考察する力を養う。
・政治・経済の基本的な知識、情報をただ知っているだけでなく、諸問題を考察するための手段として活用出来るようにする。

2　学習の到達目標

・経済行為の基本的なミクロ、マクロ経済理論を理解し、理論と現実とのギャップや今後の経済社会のあり方にについて総合的に考えることが出来るよう基礎学力を養う
・広い視野に立って、民主主義の本質について理解を深め、現代の政治、経済、国際関係などについて客観的、科学的に理解する能力を養う。
・現代の諸課題について主体的に考察する力を育成し、主権者として総合的、客観的に判断し、激動変化する社会において、自立的に生きることが出来る力を身につけることめざす。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会に生きる一人の人間として、現実の政治・経済・国際社会との関わりを理解し、より良い社会実現のためどのように改革、改善していくか。国際化の中での幅広い視点を持ち日本国民としての責務を果たそうとする。	現在の政治・経済の諸課題を歴史的視点も踏まえ政治・経済政策の変化を国際社会の動向を踏まえ公正、客観的な視点で理解し適切に表現している。	購入した資料集を積極的に活用することはもちろんのこと、有用な情報を収集し選択して情報を読み取り、学習（理論）と現実社会の実際との乖離を防ぐようにしている。	政治･経済の基本的な知識の理解を促し現実社会での政治･経済の動向に対して客観的に理解し日本を取り巻く政治･経済、国際関係を理解し､その知識を身につけている。
評価方法	授業板書ノート ワークプリント	定期考査 授業板書ノート ワークプリント	定期考査 授業板書ノート ワークプリント	定期考査 授業板書ノート ワークプリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動（1）

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	現代の経済（1）	第1章経済社会の変容 1. 経済活動の意義 2.経済社会の形成と変容 3.グローバル化と現代資本主義経済	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:現代の資本主義経済がどのような歴史的経過を経て成立したのかを理解し、資本主義経済の変遷や社会主義経済について理解を深めるため意欲的に考えようとしている。また、資本主義体制のしくみや特徴についても意欲的に考えようとしている。 b:資本主義経済の変容について多角的・多面的に考察し適切に表現し新自由主義経済についての課題と矛盾について整理し理解を深めようとしている。 c:経済思想について資料集の原典資料を読み取り活用し現代の日本経済の現状と課題について資料を収集し活用している。 d:資本主義経済についての理論と特徴についての基本的な知識を身につけて現代社会の経済の特質を理解している。	定期考査 授業板書 ノート ワークプリント
	現代の経済（2）	第 2 章. 現代経済のしくみ 1. 市場機構 2. 現代の企業	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:経済主体間の結びつきを理解し企業活動とは何かについて関心が高まっている。また企業の社会的責任についても追求しようとしている。 b:企業形態の中心である株式会社の特徴と諸問題について多角的に考察し適切に表現している。 c:教科書掲載の図や資料、資料集を適切に活用している。 d:国民経済を構成している基本的メカニズムについて理解する一方、企業の社会的責任を理解している	定期考査 授業板書 ノート ワークプリント

4　学習の活動（2）

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	D		
前期	現代の経済（3）	3.国民所得と経済成長 4. 金融のしくみ 5. 財政のしくみ	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: 市場メカニズムや経済成長，金融や財政など，現代経済の基本的なしくみや理論について関心が高まっている。 ・経済の理論と現在の経済の動向との関連について意欲的に追究しようとしている。 b:経済の循環について理論と実際の動きと対比しながら考察している。 ・日本の金融や財政の課題について多面的・多角的に考察し，適切に表現している。 c: 経済の循環や市場メカニズム，金融や財政のしくみなど経済のしくみについて，教科書掲載の図や資料などを適切に活用している。 ・現在の日本経済に関するさまざまな統計資料を読み取り，活用している。 d:経済の循環や国民経済を構成する基本的な知識を身に付け，市場メカニズムがもつ効率的な資源配分のしくみや，金融，財政の基本的な役割ついて理解している。	定期考査 授業板書 ノート ワークプリント
後期	現代の経済（4）	第3章現代経済と福祉の向上 1. 戦後復興と経済成長 2.経済の停滞と再生 3.日本の中小企業と農業	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	ａ：戦後日本経済の発展過程について関心が高まっている。 ｂ：戦後日本経済の変化や発展過程を主要な指標やできごとを選択して多面的・多角的に考察し，日本経済の進むべき方向について適切に表現している。 評価基準ｃ、ｄは（３）に記載	定期考査 授業板書 ノート ワークプリント

4　学習の活動（3）

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	現代の経済（5）	4.国民の暮らし 5.環境保全と公害防止 6.労使関係と労働条件の改善 7.社会保障の役割	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	（2）の評価基準a，bの続き c:戦後日本経済についてさまざまなメディアや文献，指標などから事象を説明している適切な資料を収集し，活用している。 d:戦後日本経済の発展過程についての基本的な知識を身に付け，変化がどのような背景から生まれたか理解している。 ・現代経済のしくみと特質(4)の 8 の日本経済の歩みの学習を踏まえ、現在の日本経済の現状の 9～15 の（中小企業、農業、労働、環境、消費者問題等）各項目について知識を身につけ理解している。	定期考査 授業板書 ノート ワークプリント
	現代の経済（6）	第4章世界経済と日本 1. 商品・資本の流れと国際収支 2. 国際経済体制の変化 3. 金融のグローバル化と世界金融危機 4. 地域経済統合と新興国の台頭 5. 経済協力と人間開発の課題	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a：為替や国際収支など国際経済の理論について関心が高まっている。 ・グローバル化が進む国際経済において，その動向や日本の役割について意欲的に追究しようとしている。 b: 国際経済の動向について諸事象を比較・検討し，課題解決の方向性について公正に判断している。 ・グローバル化のメリットと課題・問題点について整理し，適切に表現している。 c：現代の国際経済の動きや課題に関する資料を収集することができ，またそれらの資料を用いてグローバル社会における日本の役割について活用している。 d：貿易や国際収支のしくみについて知識を身に付け，赤字や黒字の意味するところを理解している。 ・戦後の国際経済の動向やグローバル化，地域統合などの動向を理解している。	定期考査 授業板書 ノート ワークプリント

4　学習の活動（4）

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	現代社会の諸課題（1）	①地域社会の変貌と住民生活 ②中小企業の新しい変化 ③農業，農村と食料，環境問題 ④雇用と労働をめぐる問題 ⑤これからの社会保障のあり方 ＊上記の各項目について学習活動の(1)、(2)の現代経済のしくみとの各項目と関連させ総合的に学習する	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a 少子高齢化や社会保障，雇用・労働問題，中小企業，農業・食料問題のなどについて関心が高まっている。 b：日本経済が抱えるさまざまな課題について多面的・多角的に考察している。 ・労働や社会保障について，課題とあるべき姿について適切に表現している。 c：少子高齢化や社会保障，雇用・労働問題，中小企業，環境問題や消費者問題，農業・食料問題などの日本の現状と課題についての資料を収集し，活用している。 d：日本経済が抱えるさまざまな課題について，その現状や背景，望ましい解決策の方向性などについて十分な知識を身に付けている。	授業板書 ノート ワークプリント

4　学習の活動（5）

	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	現代社会の諸課題（2）	⑥地球環境の保全と経済成長 ⑦原子力と再生可能エネルギー ⑧国際経済格差の是正と国際協力 ⑨人種･民族問題 ⑩国際社会における日本の立場と役割 ＊上記の各項目を学習活動(3)の第4章世界経済と日本の各項目、 1. 商品･資本の流れと国際収支 2. 国際経済体制の変化 3. 金融のグローバル化と世界金融危機 4. 地域経済統合と新興国の台頭 5. 経済協力と人間開発の課題 と関連させ総合的に学習する	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○	ａ：現代の世界政治、世界経済の動向について関心をもち，その背景を意欲的に考察しようとしている。 ・国際紛争の歴史や現状を調べ，紛争の要因や紛争を防ぐために何が必要かを意欲的に追究しようとしている。 ｂ：国際社会のさまざまな課題について多面的･多角的に考察している。 ・これからの国際社会における日本の役割について自分の考えを適切に表現している。 ｃ：現代の国際政治における課題や問題ついて，さまざまなメディアを利用して資料を収集している。 国際連合の課題や国際社会における日本の役割について資料を収集し，活用している。 ｄ：戦争や国際紛争を防ぐ国際機構や国際法が構築された経緯を理解し，そのしくみや課題についての知識を習得している。 ･核や難民，地球環境問題，資源･エネルギー問題など現実の国際政治の問題について理解している。	授業板書 ノート ワークプリント

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。